

## 仁井田浄水場更新事業について

### 1 官民連携手法導入検討の背景

(1) 国の指針（平成27年12月内閣府策定）

「多様なPPP/PFI手法導入を優先的に検討するための指針」

- ・人口20万人以上の地方公共団体等は、優先的検討規定を定め、これに従い優先的に検討を行うこと

(2) 市のガイドライン（平成29年6月秋田市総務部総務課策定）

「秋田市PPP/PFI手法の活用検討に関するガイドライン」

- ・優先的検討の対象として、建築物又はプラントの整備等に関する事業、かつ事業費の総額が10億円以上の事業が該当

【参考】検討の枠組み

国の指針
市のガイドライン
秋田市PPP/PFI手法導入検討協議会
官民連携導入可能性調査 <ul style="list-style-type: none"><li>・民間事業者への意向調査</li><li>・他都市事例</li><li>・事業方式を含めたスキーム</li><li>・官民のリスク分担</li><li>・VFM（総事業費の削減率）</li><li>・その他</li></ul>

(3) これまでの経緯

平成30年5月 秋田市PPP/PFI手法導入検討協議会（1回目）  
10月 官民連携導入可能性調査に着手

### 2 官民連携導入可能性調査の状況

(1) 民間事業者への意向調査（平成31年2月～3月）

ア 調査の目的

安定的、継続的なサービスの供給が確保できる事業スキームを構築するため、また、民間事業者参入の可能性を把握するため、民間事業者から参考意見を聴取し、参入条件等を調査確認する。

イ 調査先

国内において、DB、DBM、DBO、PFI方式で実施した浄水場更新事業の実績（代表者または構成員）がある企業20社（うち回答16社）

- ・水処理メーカー 12社（うち回答10社）
- ・ゼネコン 8社（うち回答6社）

ウ 調査結果

(単位：社)

No.	質問項目	回 答					
		官民連携による事業方式					
		DB	DBM	DBO	PFI		
1	参画の意向	積極的に検討する	9	2	5	0	
		条件が整えば検討したい	4	9	7	7	
		参加意欲はない	2	4	3	8	
		その他	1	1	1	1	
		計	16	16	16	16	
		(うち、すべてに参画意欲なし2社：以下回答なし)					
2	類似事業の実績	【前提】浄水処理能力10,000m <sup>3</sup> /日以上 of 施工実績					
		薬品沈澱池+急速ろ過方式 (全体)				9	
		薬品沈澱池のみ等 (一部)				2	
		実績なし				3	
				計	14		
3	事業期間	設計・施工期間		60か月	9		
				66 "	1		
				72 "	3		
				計	13		
		維持管理・運営期間		15又は20年	11		
				30年	1		
		計	12				
4	コスト平均削減率	・設計・建設費			4.8%		
		・維持管理費		DBM	3.0%		
				DBO、PFI	3.3%		
				回答	12		
5	地元企業への分担金額割合	土木工事、建築工事		30%可能	7		
				計	12		
		機械工事、電気工事		15%可能	6		
				計	12		

※略語説明

- ・DB (Design Build) : 設計+建設
- ・DBM (Design Build Maintenance) : 設計+建設+保守管理
- ・DBO (Design Build Operate) : 設計+建設+保守管理+運転管理
- ・PFI (Private Finance Initiative) : 設計+建設+保守管理+運転管理  
(民間による資金調達)

(2) 他都市事例

事業方式 (発注方法)	事業体 (稼働年)	処理 方式	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	参画企業				
				水処理 メーカー	ゼネ コン	地元 企業	コン サル	その他 企 業
従来型 (仕様発注)								
	広島県 福山市 (H28)	急速 ろ過	38,600	○	○	○	○	○
	福島県 郡山市 (H26)	急速 ろ過	26,000	○	○	○	○	
官民連携型 (性能発注)								
DB	宮崎県 宮崎市 (R2予定)	急速 ろ過	60,000	代表 ○	○	○	○	
	福岡県 春日那珂川 水道事業団 (H30)	膜 ろ過	25,000	代表 ○	○		○	○
DBM	愛媛県 今治市 (R4予定)	膜 ろ過	40,000	代表 ○		○	○	○
DBO	愛媛県 四国中央市 (R1予定)	急速 ろ過	40,000	代表 ○	○	○		
	福島県 会津若松市 (H30)	膜 ろ過	27,000	代表 ○	○	○	○	
PFI	神奈川県 横浜市 (H26)	膜 ろ過	171,070	代表 ○				○
	愛知県 岡崎市 (H29)	急速 ろ過	68,395	○	代表 ○	○		○

3 スケジュール (予定)

平成30年5月 秋田市PPP/PFI手法導入検討協議会 (1回目)

10月 官民連携導入可能性調査に着手

【以上、再掲】

令和元年9月 事業方式の検討に着手

10月 秋田市PPP/PFI手法導入検討協議会 (2回目)

12月 事業方式の決定